

新疆の日に参加して

2013年11月29日 駐大阪中国総領事館主催

11月29日、大阪帝国ホテルで駐大阪中国総領事館主催“新疆の日”レセプションが開催され、当会から3名（見本会長、神谷副会長、事務局）が参加しました。

“新疆の日”とは何か？聞いたところ、タイトルにあるレセプションを開催した日をいうとのことで、新疆ウイグル自治区の伝統的な“日”ではないとの事です。会場には日中関係の諸団体や大学の留学生など総勢150名が参加し、盛大にレセプションが行われました。各テーブルには新疆の特産品であるお菓子や乾燥食品そしてシルクのスカーフがおかれ、また新疆の歌や踊りも披露され、参加者は一緒に踊りを楽しみ、新疆との友好と交流を楽しみました。

東京の中国大使館から孔多孜・玉素甫参事官（元駐大阪中国総領事館副総領事）もご子息と一緒に参加され、我々は久しぶりの面会となり大阪でのお付き合いが懐かしく思い浮かばれました。

冒頭、劉毅仁総領事がお祝いの言葉と中国は新疆ウイグル自治区とは協力的関係があり、さらに関係強化を一層図ることを述べられています。

その後、新疆ウイグル民族舞踊や声楽など多彩な内容で、参加者を魅了しました。



孔多孜・玉素甫参事官



(2013.11.30 事務局)